

04
2025

Hiroshima Center Rotary Club

Monthly Magazine

vol.22



ロングス絵画同好会 迫田勝明会員作品 「錦帯橋」

広島中央 ロータリークラブ

活動記録：2025年04月のまとめ

事務局

例会日：毎週月曜 12:30～13:30
例会場：リーガロイヤルホテル広島
広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL：082-221-4894
FAX：082-221-4870
E-mail：hcrcl@godorc.gr.jp
URL：https://hcrcl.gr.jp/



2025/04/07

第2054回例会

場所

リーガロイヤルホテル広島

本日のプログラム

会員卓話「ハラスメントについて」

卓話者

好永 裕一 会員

担当委員会

プログラム

祝事等

- ・ 会員誕生日（7名）吉川修 出崎 新宮 古澤 平瀬 城本 三宅
- ・ 特別なお祝い（還暦）三宅
- ・ 配偶者誕生日（1名）宗正

会長時間

ロータリーの特別月間「環境月間」

本日は会員卓話として、好永会員に「ハラスメントについて」の卓話をいただきます。好永会員、後ほどの卓話を宜しくお願いします。

まず、本年1月に発生した米国ロサンゼルス山火事被災者支援についてご報告いたします。当クラブの提携クラブであるサンタローザ・サンライズRCを通じて、被災地であるRI5300地区の基金に無事に支援金を送金いたしました。ご協力いただいた皆様に、改めて御礼申し上げます。

さて、4月は国際ロータリーが定める特別月間のひとつ、「環境月間」です。

昨年の地区大会の後に一度ご報告いたしましたが、地区大会で東京大学未来ビジョン研究センターの江守正多教授より「気候危機のリスクと社会の大転換」というテーマで基調講演をいただきました。地球温暖化が取り返しのつかない領域に近づいている今、持続可能な社会に向けた大転換が必要であるという強いメッセージが語られました。実際、昨年の世界平均気温は、パリ協定が掲げる「産業革命前から1.5

度以内に抑える」という目標を超えており、私たちが異常気象や記録的な猛暑を肌で感じています。

このような温暖化の進行は、「気候難民」の増加という深刻な人道問題にも繋がっています。2020年には3,000万人だった気候難民が、2050年には2億人に達するという予測もあります。

また、マイクロプラスチックによる生態系や人体への影響も憂慮すべき課題です。海洋に流出したプラスチックは小さな破片となって魚の体内に入り、最終的に人間の体内からも検出されるに至っています。これに対し、従来の3R「リデュース・リユース・リサイクル」に加えて、「リニューアブル=再生可能資源への転換」という新たな視点が重視されています。

環境問題の根本には人口や教育などの社会課題も深く関わっています。特に女子教育の普及は、将来の人口抑制や地域の自立に繋がり、環境保全にも貢献する重要な鍵となります。また、食品廃棄も環境負荷の一因であり、余剰食品を活用する取り組みも広がりを見せています。

私たち広島中央ロータリークラブとしても、この「環境月間」にあたり、今一度自分たちにできることを見つめ直し、身近なところから実践していくことが求められています。家庭でも職場でも、小さな取り組みの積み重ねが大きな変化につながります。そして、環境分野においても共に行動できるパートナーを見つけ、ロータリーの輪をさらに広げていきましょう。

会員卓話の風景



卓話者：好永 会員

場所

リーガロイヤルホテル広島

本日のプログラム

ゲスト卓話

「日本における創業の課題と革新的な抗がん剤の開発状況」

卓話者

広島大学副学長 田原 栄俊 様

担当委員会

プログラム

祝事等

- ・ 連続出席表彰（4名）
迫田 児玉 大内 大田
- ・ 結婚記念日（7名）
緒方 平瀬 杉本 古澤 吉川恵 赤羽 淀江

会長時間

「ロータリークラブと国連」

本日はゲスト卓話の講師として、広島大学副学長 田原栄俊様にお越しいただきました。

田原様、後ほど卓話をよろしくお願いします。

先週の4月11日に広島城南ロータリークラブの創立30周年記念式典・祝賀会が催され、西井幹事と一緒に出席いたしました。創立30周年の記念事業は、被爆80周年を迎えることもあり、平和関連事業として爆心地近くに記念碑を設置し、また同時に原爆投下時の映像や広島の復興の歴史について英訳付きの解説動画を制作し、記念碑に付けたQRコードからWEB上で解説動画が視聴できるようにするそうです。設置場所については広島市と協議中とのこと。今回の記念式典及び祝賀会には全国の“城南会”から3つのRCも参加され、終始和やかな雰囲気の中で記念式典と祝賀会が催されました。我がクラブがスポンサークラブとして30年前に創立のお手伝いをさせて頂いた広島城南ロータリークラブが、奉仕活動も親睦も進化し続けていることに感銘を受けました。

本日は、ロータリークラブと国際連合（国連）の関係について述べたいと思います。ロータリークラブと国連は、理念と実践の両面において深い関係を築いてきました。ロータリークラブは1905年の創設以来、「国際理解、親善、平和の推進」を使命とし、地域社会から世界規模の課題に取り組んできました。特に、1945年サンフランシスコで開催された国連憲章制定会議において、国際ロータリーは米国代表団の顧問機関として招聘された42団体の一つであり、49名のロータリアンが各国代表団の顧問として参加しました。ロータリークラブはその理念において、国連の設立と平和秩序の構築に大

く貢献しました。

現在も、ロータリークラブと国連は協力関係を維持し、ポリオ根絶を目指す「ポリオプラス」計画、教育支援、貧困削減、水と衛生の改善、環境保全、平和構築といった地球規模の課題に共に取り組んでいます。また、毎年11月に開催されるRotary Day at the UN では、両者の協力関係が再確認され、SDGs達成に向けた取り組みが共有されます。

ロータリークラブは、草の根レベルの市民活動と国際機関の取り組みをつなぐ架け橋として、世界中の地域社会に貢献し続けています。永続的な世界秩序の実現に向け、国連と共にこれからも行動し続けることが期待されています。



連続出席表彰の会員

ゲスト卓話の風景



卓話者:広島大学副学長 田原 栄俊 様



2025/04/21

第2056回例会

場所

リーガロイヤルホテル広島

本日のプログラム

ゲスト卓話

「リアルワールドデータからみる広島県の医療の現在と未来」

卓話者

広島県健康福祉局 医療機能強化推進課 主査
高橋 一剛 様

担当委員会

プログラム

ゲスト

入会予定ゲスト：金原 幸夫 様

祝事等

(ニコニコ箱時間にSAA委員長より紹介)

・入会月会員（5名）

迫田 通谷 児玉 大内 大田

・創業月会員（19名）

高蓋 西井 三浦 神保 土谷 岡田 大内

山野井 沖本 原田 宮下 古澤 平松 嶋本

楨殿 城川 芥川 土肥 小林

会長時間

○入会式(上土井 幸始君)

*会長より四つのテスト・バッチ・花束贈呈

*推薦者より紹介と新会員の挨拶

「ロータリーソング」

本日はゲスト卓話の講師として、広島県健康福祉局 医療機能強化推進課 主査 高橋一剛様にお越しいただきました。高橋様、後ほど卓話をよろしくお願いいたします。

また、入会予定ゲストとして 金原幸夫様にお越しいただきました。金原様、例会をお楽しみください。

本日は新入会員・上土井さんのご入会式がございますので、会長時間は簡潔にお話しさせていただきます。本日は「ロータリーソング」についてご紹介いたします。

例会の冒頭や懇親会の締めくくりに歌われるロータリーソングですが、その起源はシカゴ・ロータリークラブのハリー・ラグルス (Mr. Harry Ruggles) 氏によるものでした。彼は、皆で声を合わせて歌うことで、会の雰囲気が明るくなり、親睦と一体感が深まると説いています。

日本で最初にロータリーソングが披露されたのは1935年、京都での年次大会で、「奉仕の理想」や「我等の生業」などが発表されました。その後、1952年の大阪大会では「手に手つないで」や「それでこそロータリー」といった曲も加わりました。

また、ロータリー中央事務局が発行する『Songs for the Rotary Clubs』には150曲以上が収められていますが、そのうち純粋にロータリーのために作られた曲は40曲程度とのこと。

例会での合唱は、上手下手に関わらず、元気よく歌うことが大切です。恥ずかしがらず、大きな声で歌いましょう。

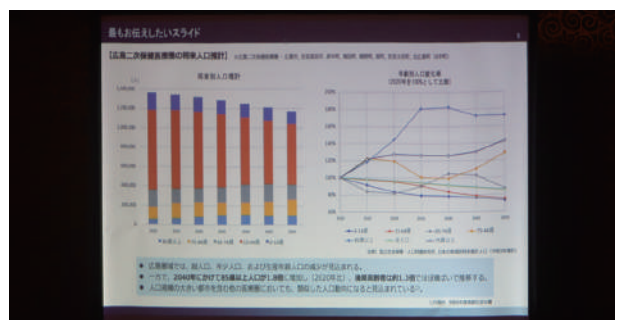
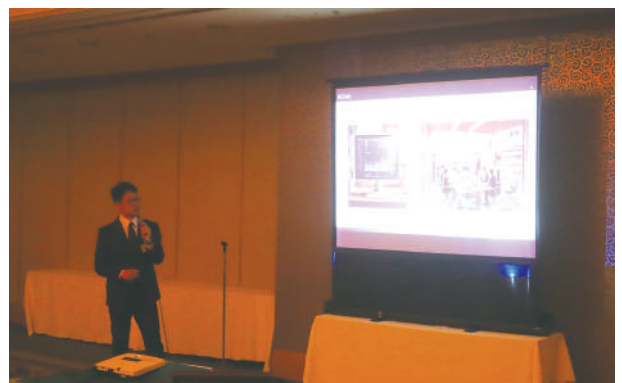


入会式(上土井 幸始 会員)

ゲスト卓話の風景



卓話者:広島県健康福祉局 医療機能強化推進課
主査 高橋 一剛 様



2025-26年度 公共イメージ委員会 第1回インフォーマルミーティング

日 時 2025年4月14日(月) 11:45～

場 所 リーガロイヤルホテル3階ロビー

出席者 三宅次年度会長、大内次年度幹事、政岡次年度理事、長場次年度委員長、山本次年度副委員長、淀江、光村(7名)

審議内容等

(1) 会長挨拶

- ・ 会員相互の連携を図り、例会時に会話ができるよう情報を発信してほしい。
- ・ MY ROTARYの登録日を検討するなどして全会員登録するようにしてほしい。これが50周年の準備になるのではないかな。
- ・ HP閲覧の回数等の分析をしてほしい。

(2) 2025-26年度活動計画

ア 方針

クラブ及びローターアクトクラブの活動、地区やその他ロータリーに関連する行事等について情報発信等を行う。

イ 計画

- (ア) クラブフォーラム(9/1)の内容を検討する。
- (イ) HP及び会報誌用に委員会メンバーで順番を決めて写真撮影を行う。
- (ウ) クラブの様々な活動をHPにアップロードします。また、定期的にHPの情報の正確性等についてチェックする。
- (エ) 活動ごとの情報をNAS(データ保管用ハードディスク)に保管する。
- (オ) MY ROTARYへの登録を促進する。
- (カ) クラブの奉仕活動やイベントに関する情報を事前にメディアに提供する。
- (キ) デジタル会報誌を引き続き作成し、数部紙媒体でも配布する。表紙は当該月の代表的な写真やロンガルス同好会のメンバーの作品等を掲載する。
- (ク) クラブ50周年に向けての取り組みを検討する。

2025-26年度 会員組織委員会 第1回インフォーマルミーティング

日 時 2025年4月16日(水) 18:30～

場 所 二代目きっ川

出席者 三宅次年度会長、大内次年度幹事、好永次年度会員組織委員会理事、砂田次年度会員増強・職業分類委員長、西井次年度ロータリー情報委員長、山野井次年度会員増強・職業分類副委員長、田原次年度委員、迫田次年度委員、杉本次年度委員(9名)

議 題

- (1) 会長挨拶
- (2) 2025-26年度会員増強・職業分類委員会の活動計画について
- (3) 2025-26年度ロータリー情報委員会の活動計画について

活動計画についての協議

(1) 会員増強・職業分類委員会の活動計画

砂田次年度委員長から、事業計画と予算案について説明がなされた。その後、現在会員数が64名となっており、会員増強を進めるためにどうすればよいか、ざっくばらんな意見交換を行った。

(2) ロータリー情報委員会の活動計画

西井次年度委員長から、事業計画と予算案について説明がなされた。その後、クラブ研修セミナーの持ち方、開催回数等について、意見交換を行った。



2025-26年度 クラブ管理運営委員会 第1回インフォーマルミーティング

日 時 2025年4月17日(木) 18:30～
場 所 2代目きっ川
出席者 三宅会長エレクト、大内次年度幹事、宮下、平瀬、三浦、沖本、猪垣
榎殿、大坂、上原、下原、新宮、吉川(修)大田、山本、金光(16名)

審議内容等

2025-26年度会長方針の説明、行事予定
事業計画策定依頼

記 事

開会
三宅会長エレクト挨拶
各委員長挨拶
乾杯(下原会員)
歓談
中締め(沖本委員長)



2025-26年度 奉仕プロジェクト委員会 第1回インフォーマルミーティング

日 時 2025年4月21日(月) 18:00～
場 所 孝し
出席者 三宅、大内、馬野、加藤、下原、小佐古、光村、榎殿、淀江、西川済、戸田、木内(12名)

議題又は目的

2025-2026奉仕プロジェクト委員会の委員会活動について

記 事

(職業奉仕)

- ・職場訪問例会を広島市議会への訪問で検討をすすめる。
- ・新たな試みとして、外個人留学生等の受け入れの人材バンクの設置を行うことを提案。実現可能か諸々の課題を検討。

(人間尊重・社会奉仕)

- ・8月6日おもてなし事業の実施。
- ・地区補助金を活用し、車いすソフトボール協会へ車いすの贈呈を行う。
- ・こども食堂への支援は継続しないことで検討。

(国際奉仕)

- ・広島中央ロータリーらしい、国際奉仕は何かできるか、会員を巻き込み検討を進める。
- ・古切手、書損じハガキを回収し寄付

(青少年奉仕・ローターアクト)

- ・RYLA、次年度指導者研修会への参加。
- ・広島中央ローターアクトクラブの行事への参加。
- ・今後広島中央ローターアクトクラブの在り方を検討。